

令和2年度第3回地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 議事録

日 時	令和2年10月16日（金）10:00～10:55	
場 所	オンライン会議（事務局：福岡市役所 1002 会議室）	
出席者	委員	福岡市医師会 副会長 松浦 弘 独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター 院長 藤 也 寸 志 九州大学大学院医学研究院 准教授 福田 治久 福岡県看護協会 会長 大和 日美子 公認会計士 行正 晴實
	事務局	福岡市保健福祉局長，同理事，同健康医療部長，同医療事業課長
次 第	1 開会 2 議事 （1）地方独立行政法人福岡市立病院機構第4期中期目標（素案）について 3 その他	
配付資料	資 料 現行（第3期）中期目標と第4期中期目標（素案）との比較対照表 参考資料1 第4期中期目標・中期計画の概要 参考資料2 関係法令（抜粋） 参考資料3 地方独立行政法人福岡市立病院機構 第3期中期目標 参考資料4 地方独立行政法人福岡市立病院機構 第3期中期計画	

## (1) 地方独立行政法人福岡市立病院機構第4期中期目標(素案)について

### ○事務局

【資料について説明】

### ○委員

大項目、中項目も第3期から継続を前提としていることは、新型コロナウイルスが今後どうなるかわからない、非常に計画も立てにくい、でも立てなくてはいけないという状況を考えますと、当然だと思いますので問題ないかと思います。感染症についても、災害、感染症等とまとめて明記されて、よいと思います。結論として、特に大きな問題はなく、質問もありません。

### ○委員

3ページの2段落目の新公立病院改革ガイドラインの改定が示されていない主な要因となっているのは、新型コロナウイルスの感染拡大かと思います。全国でも新型コロナウイルスの対応の約6割を公立病院が担っているという状況を踏まえ、「地域包括ケアなど地域の医療提供体制において」の文言のところに、「地域包括ケアシステム及び災害・感染症の対応など」と、明確に、今後、公立病院が期待される役割を入れられてはどうかと思います。

4ページの医療サービスの(2)に、具体的に地域包括ケアシステムという文言は入っていないのですが、ここに地域包括ケアシステム構築の貢献という内容が入っていると思われます。医療連携の推進は、第3期から第4期にかけて、進んでいかなければならない項目になるかと思えます。病院機構は、全世代型の地域包括ケアシステムの構築に非常に貢献しているため、言葉としてここに入れていただいて、第3期と第4期の違いを明確にさせていただいた方がいいかと思えます。

また、5ページの(3)には、大規模災害が発生した場合としかないのでありますが、今、厚労省交渉でも、感染症パンデミック発生時の市を超えた、地域を超えた支援のあり方を人的支援も含め検討されていることを考えますと、感染症に関する文言も当然入ってくるべきなのかと思えています。

2患者サービスの(1)において、「ボランティアとの連携」とありますが、連携を図るのがボランティアだけと受け取られるのではないかという違和感があります。また、「外国人も含む市民・患者の視点に立って」に関しては、福岡市がダイバーシティを推進しており、グローバル化を目指しているため、いろいろな人々、多様な人々などという文言を入れますと外国人を含め、女性、高齢者、障がい者、こども等とすべての人たちを包括したものとして表現できるかと思えます。

### ○事務局

1点目は、3ページ前文の第4期の目標のところ、災害・感染症の対応についても、この中に盛り込むべきではないかというご意見であったかと思えます。今年度、特に新型コロナの影響は非常に大きいですが、新型コロナというキーワードが引き続き使えるかということ、疑問があるところではございます。ただ、公立病院として、感染症に関する取組については、これから先、その役割はより強くなっていくものだと思っております。そういう観点からすれば、今委員の方からお話がありました感染症の取組に関する記載の部分については、今一度、ご意

見を踏まえまして、その内容を強化もしくは追加していきたいと思います。

また、地域包括ケアのことを、4ページの地域医療への貢献と医療連携の推進のところ、触れてはどうかというご意見をいただいたかと思います。公立病院の役割として、地域包括ケアにおける役割は、現行の新公立病院改革ガイドラインの中でも、求められていますので、改めてこの文面について、検討したいと思います。

5ページのところ、患者サービス（1）の患者サービスの向上の、外国人も含むという文言のところですが、既に病院で多様な人々を想定した取組を行っている例もございますので、すべての人、多様な人々というような意味で、文言の修正等を検討したいと思います。

また、ボランティアとの連携の部分に違和感があるというご指摘をいただいております。事務局としては、ボランティアは1例として示しておりましたので、「ボランティアなど」という形で、もう少し幅広く、いろいろな方々にも協力していただきながらという趣旨に変更を考えたいと思います。

## ○委員

中期目標の期間が4年で設定され、それは診療報酬改定のインターバルに合わせて作りやすくしているということに、非常に実務的に納得しました。

他の病院機構が、実際に中期目標期間を何年で定めているのか分かれば参考までに教えてください。

## ○事務局

中期目標の期間につきましては、3年から5年の期間の間で設立団体が定めることとなっておりますが、平成31年4月1日時点で、福岡市で調べたところ、3年という期間を置いている独立行政法人は、ございませんでした。4年と定めているところが、都道府県の独立行政法人中6、それから政令市では5ございます。5年と定めているのが、国と都道府県で15、そして政令市が3となっております。政令市は4年サイクルで作っているところが多くございます。

## ○委員

全体的によろしいのではないかと感じました。

修正いただきたいといいますが、少しコメント的な観点になるかと思いますが、5ページ目、(3)の災害・感染症というところで、感染症の文言をこちらに引き上げるということについては、よろしいのではないかと思います。

2患者サービス（1）の患者サービスの向上について、今回情報通信技術を活用するところが出てまいりましたが、若干の唐突感を感じました。そういう技術を入れることにより、患者サービスを向上させることについては非常に賛成ではありますが、ただこれを実施するためには、様々なインフラの導入や対応が必要になるかと思います。現時点の目途として、両病院においてこういうふうな計画が現に進んでいるのでしょうか。そういった計画がない中でこういうふうな中期目標が立てられますと、評価する際には難しくなってくるかと思いますので、どうしてそういうところが入ってきたのが気になりました。

また、それが達成できているかどうかという中期目標期間終了時の評価、数年経ってからの

評価という観点から、果たしてどうやって評価したらいいのかというところを悩んでおられて、これまでの議論で、可能な限り目標項目に定めた、定量的な評価が望ましいのではないかとこの委員会を通じてご指摘があったかと思えますけれども、こういう技術に対して本当に評価できるのか若干の不安を覚えました。

また、「効率的かつ効果的なサービスに努める」というところですが、文章最後のところは「サービスの向上に努める」という文言もあります。もしそういった文言に合わせるならば、例えば「効率的かつ効果的なサービスの展開に努める」とか、そういう文言はどうかと感じました。

6 ページの3 (1) について、病院スタッフの確保についてですが、この中に、今回、「中長期を見据えて人材の確保に努める」というところが入ってきたかと思えます。ただ、これもやはり評価する上では、非常に難しい点になってくるかなと感じました。中長期を見据えて、本当に人材を配置できているのかどうかというところを評価する際には、両病院がしっかり中長期的な展望を見据えて、こういう中長期的な展望があるからこういう人材確保を行いました。それについてどうなのかという評価になるかと思えますが、果たして本当に中長期的な展望を両病院が、設定することができるのか、コロナの影響であったり、或いは制度的な影響というのは、かなり唐突にくる部分もありますので、この中長期という文言があることによって、中期目標の評価が難しくなるのではないかと考えました。

大きくこの2点について、若干の不安を覚えましたのでコメントとして述べさせていただきます。

## ○事務局

患者サービスの向上の、ICTの積極的な活用を入れた理由でございますが、世の中の流れとして、ICTの積極的な活用による業務の効率化が叫ばれているところでございます。

例えば、こども病院の例で申し上げますと、LINEを使った外来患者の予約変更、システムを新たに構築して、試験的に運用を始めているということもございます。

本格的な稼働を目指しているという事例があることを踏まえまして、ここに入れております。

指標につきましては、できる限り数値化する形が望ましいと思っております。そのご意見は委員の方々からもいただいておりますので、どういう形で数値化できるのか、病院と相談しながら設定していくのがいいと考えております。ただ、基本的にはすべてを数値化するというのは困難であると思っております。今の評価の仕組みにおいても、定量的なもの、定性的なもの、両方を認めているところでございます。その中で、定量的にできるものは、できる限り定量的な設定を求めていきたいと思っております。

## ○委員長

それでは続きまして、第2、第3、第4、業務運営、それから財務内容、その他業務の運営に関する事項ということで、皆さん方からご意見、ご質問をお願いいたしたいと思っております。

## ○委員

全般的にはよろしいと思っております。

1点だけ。一番最後なのですが、大項目第4のその他の業務運営というところの市民病院の方です。

この経営改善の推進でございます。これは、大項目第3の方が収支、費用削減等、第4がそれ以外の経営、広義で言えば、何かその他のところでしょうけれども、それ以外のところという記載がない、この書きぶりでは、第3と区別がつきにくいという印象を持ちました。

## ○事務局

この部分につきましては、委員がおっしゃる通り、財務内容ではなく、経営全般に関する事項という位置付けでとらえております。そういう意味で、大項目第3の財務内容の改善に関する事項とは、ちょっと違うニュアンスで置いております。

## ○委員

解決策があるわけではないのですが、第3のところも経営基盤という経営ってという言葉があって、全部運営のこと、お金のこととかが書いてありますので、第4はそれ以外のということが少しわかりにくいと思ったので、工夫がいるのかと悩んだ点でございます。

## ○委員

7ページの3働きがいのある職場環境づくりの「国の働き方改革を踏まえて、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた」というところです。ワーク・ライフ・バランスに関しては第3期からの引き続きの項目になるのですね。

働き方改革の主要な方針が、多様な働き方を考えるワーク・ライフ・バランスです。様々な働き方、その人に合った働き方という意味で、やっぱりここも多様なという言葉がよく入ってきます。

この働き方改革を踏まえて、「多様な働き方を考えるワーク・ライフ・バランスの実現に向けた」というふうにしてはどうかというところと、この後のくだりで職員が働きやすい職場環境のところに関しても、働く人の視点に立って職場環境を改善する、働く人の視点ということが非常に重要だということと、少し文言を考えていただければと思います。

ワーク・ライフ・バランスは、何も働く人が働きやすいだけでなく、その先に、生産性の向上や仕事の効率化があるので、そこまで言葉に入れるかどうかをご検討いただければいいと思います。下手にすると、働く人が希望するような働き方ができればいいととらえられるといけませんので、そういう視点もご検討いただければいいと思います。

9ページの、第4のところ、2福岡市民病院における経営改善の推進の項目ですけれども、ここには、「引き続き更なる経営改善を進める」こととあり、非常に頑張るぞという気持ちがあるわけではないのですが、実施する市民病院、こども病院に関しまして、厳しいな、きついなという思いがあります。ここでは、「引き続き経営改善を進める」ことぐらいで、十分ではないかなと思います。

福岡市は7年連続の市税増収を図り、昨年は過去最高でした。非常に市政としても、人も集まり、いろんな事業も起こして、福岡市は、高齢、人口減少の社会にあっても、九州の中ではちょっと違うポジショニングをしていると思います。その中で二つの病院を経営しているので、さらなる、もっと頑張れとまではいかななくてもいいかと思います。

## ○事務局

いただきましたご意見を踏まえまして、その文言修正等は検討させていただきたいと思ます。

## ○委員

全般的にはよろしいと思ます。

その中で8ページ。私の感想なのですが、財務内容というところで、1持続可能な経営基盤の確立という持続可能という言葉が、とても時機を得て、よろしいと思ます。

それともう一つ、運営費負担金は、以前、その縮減にウエイトがかかっていたのですが、これを適正化という単語にされたということは、これも今の状況で見ると、時機を得てよろしいのではないかと、評価いたしました。

## ○委員

全体的によろしいかと思ました。

1点だけ、若干気になったことについてですけれども、8ページ目の2収支改善の(1)の収益確保の最後の文章に、未収金発生の文言がございます。

これは医療機関経営の実務においては、確かに大きな課題なのかもしれませんが、ただ、他の中期目標のレベル感を踏まえると、ここは個別事例に入り込んでいて、若干のレベル感の相違を感じています。

本当に必要かどうかもご検討いただき、やはり必要だということであるならば、例えば、一つ前の段落の安定的な収益の確保のところ、「安定的かつ確実な収益の確保に努める」という形で、意味合いを残すということも可能かと思ました。

ただ実際にこの2病院においても、未収金が非常に大きな問題だということであるならば、残すということもよろしいかと思ますが、若干中期目標としてはレベル感が違うところが気になったところです。

## ○事務局

ご指摘を踏まえまして、事務局でどういう形に整えるか検討させていただきたいと思ます。

## ○委員長

これは、かなり未収金が他の病院と比べて多いということでしょうか。

## ○事務局

他の病院がどれぐらいあるのか、事務局の方では把握ができておりませんが、基本的には収入を得るべき努力はしていただかないといけないということもありまして、これまでずっと中期目標の方に入れていたところがございます。

委員からもご指摘がありました通り、この部分だけが少し個別の事例ではというご意見は今までちょっとなかったところの話でありますので、改めて、そういったところも含めまして現状も確認しながら、中期目標に、そのままこの一文を入れるかどうかについては、事務局で練り直したいと思ます。

○委員長

皆さんから出された意見を，中期目標の案に適切に反映していただくようお願いいたします。

修正いただいた中期目標につきまして私の方で責任を持って，確認をさせていただきます。  
委員長一任とさせていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

○委員

異議なし

○委員長

それでは，私に一任ということで，議事の1については審議を終わらせていただきます。

その他
-----

○事務局

【第4回の日程等について説明】